

自動運転実証車両の実例

運輸局使用欄(文書番号):

○全体概要

実証事業者	BOLDLY株式会社
実証期間	2021年12月15～19日
実証実験の概要	北海道上士幌町で自動運転バスNAVYA ARMAの冬季運行を実施。積雪による周辺環境の変化やぼたん雪などの降雪が自動運転バスのセンサーに与える影響や、氷点下の環境における車両の走破性および路面凍結への対策の有効性などを確認した。

○実証の概要

走行場所	北海道上士幌町	
走行環境条件	走行空間	混在空間
	交通環境	右折あり／左折あり・信号あり
	走行時間帯	8:30-18:15
	天候	荒天時を除く
	実証時最高速度	20km
インフラとの連携の内容	無し	
車両内外の保安要員の有無	なし	
保安要員有りの場合、配置場所		

<走行空間の写真等>



○車両の基礎情報

ベース車両	NAVYA ARMA
システムの類型	特別装置自動車
最高速度	20km/h
定員	11人
立席・着席	立席無し

<車両の外観写真等>



○主な基準緩和項目と代替の安全確保策とその考え方

<p>保安基準11条1項 かじ取り装置</p> <p>保安基準105条1項第3号 保安基準183条1項第3号 運転者席</p>	<p>汎用コントローラを持ってかじ取り装置の代替とする。コントローラ断線時や、コントローラが運転手の手から離れた場合には、車両が自動的に停止する。</p> <p>本車両では、運転者が乗客と対面できるよう運転者席が車両進行方向に対して左後方に設置されているところ、運転者と車両前方との間に乗客が乗車し、視界を遮る恐れがある。そのため、運転席を立席とし、直前直左の視界をカメラで確保するとともに直左後方は後写鏡によって視界を確保する。</p>
---	---

<緩和対象箇所の写真等>



○基準に適合させるために実施した改造事例

<p>従来の車両の仕様としては、前後どちらでも走行できるよう設計されているところ、日本の保安基準に適合させるため、後方方向指示灯・制動灯・補助制動灯・後部反射器を新規に取り付けた。</p>
--

<改造箇所の写真>



○ヒヤリ・ハット事例(発生内容、原因、対策等)

<p> </p>

<ヒヤリ・ハット状況の写真や図など>

<p> </p>
